

ボランティア掲示板

問い合わせは、ボランティアビューローまで

◆フードドライブ(「食」の助けあい活動)◆

ご家庭で眠っている食品の寄付のご協力をお願いします!

受付期間: 11月9日(月)~30日(月)

受付場所: 社会福祉会館 他9ヶ所

ご寄付いただきたい食品:

- 常温で保存できるもの
 - 未開封のもの
 - 賞味期限が2ヶ月以上あるもの
- 詳しくは、大和郡山市社会福祉協議会ホームページ (<http://ykshakyo.or.jp>) または窓口へ

◆使用済み切手を集めています◆

集まった切手はキリスト教海外医療協力会を通じて発展途上国の医療に役立てられます。

団体名: わかくさ

日時: 随時

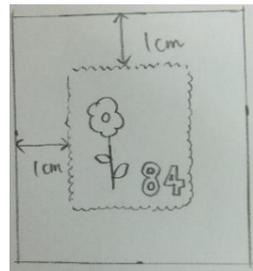
回収場所: ボランティアビューロー
大和郡山市社会福祉会館

内容: 使用済み切手を集めて、ボランティアビューロー・大和郡山市社会福祉会館に設置されている

収集箱に入れるだけ。切手の周りに約1cmの余白を残して切ってください。

台紙からはずす

必要はありません。



◆点訳講習会◆

点字と一緒に学びませんか? 「あいうえお」から始めますので、初心者でも大歓迎です!



日時: 1月18日~3月8日 毎週月曜日
午後1時30分~3時30分

場所: 大和郡山市社会福祉会館

受講料: 無料

ただしテキスト代 1,540円が必要です。
※申込受付は12月からです。

◆助成金のお知らせ◆

近畿ろうきん

「2020年度 近畿ろうきんNPOアワード」

助成対象: 子育て支援活動をすすめるNPO法人やボランティア団体

2021年4月1日~2022年3月31日に日本国内で実施する新規子育て支援事業

応募方法: 近畿ろうきんホームページ

(<http://www.rokin.or.jp>) より申請書をダウンロードし、提出書類と郵送する

募集期間: 12月1日(火)~1月31日(日) 必着
助成金額:

【はばたきコース】	大賞50万円	1団体
	優秀賞30万円	2団体
	奨励賞20万円	5団体

【はぐくみコース】 はぐくみ賞10万円 4団体
詳細は奈良ボランティアネットホームページをご覧ください。(<https://www.naravn.jp>)

ふれあい金魚に関するご意見・ご感想をお待ちしています。



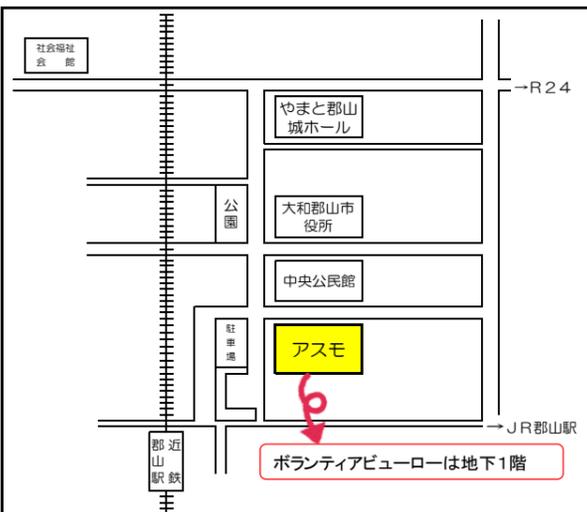
ボランティアビューローへお車でお越しの方は、三の丸駐車場をご利用ください。

大和郡山市社会福祉協議会ボランティアビューロー
受付時間 月・水・金・土曜日(年末年始除く)

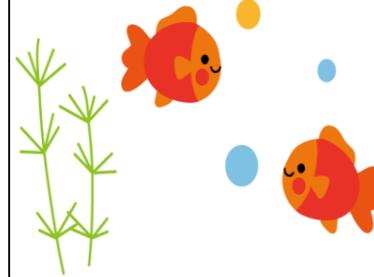
午前10時~午後4時

電話・FAX 0743-55-7333

(大和郡山市社会福祉協議会 電話 53-6531)
FAX 55-0986)



ボランティア情報紙 第47号 (令和2年11月発行)



ふれあい金魚

発行: 大和郡山市社会福祉協議会ボランティアセンター
大和郡山市南郡山町529-2 アスモ大和郡山地下1階
TEL 0743-55-7333(ボランティアビューロー)



ボランティアビューロー 近況報告です

この看板が目印!



皆さま、新型コロナ禍の中でいかがお過ごしでしょうか?

3月より6月中旬までボランティアビューローを閉所させておりました。

6月より新型コロナウイルス感染防止対策でアクリル板を設置し、消毒液を置き、換気にも気を付けて、常にテーブル・椅子などの消毒を心がけております。

4月よりボランティアの登録更新をしてくださっている方は、40余りのグループと個人18名です。

以前のように施設のイベントの手伝いや車いす介助などの行事はありませんが、来年の春には桜の下で車椅子の介助をしたり、施設のまつりに参加したり等、皆さまの笑顔に会えることを信じて、1日でも早くコロナ感染が収束してくれることを願って、相談員一同待っています。

ビューローへは古切手1枚でも結構ですので、お持ちいただいて少しお話をしに来てください。



ボランティアに関するチラシ



古切手・外貨コイン収集



会議室(定員13名)

☆ボランティアビューロー

ボランティア相談員募集中☆

市内在住で、ボランティア経験が3年以上あり、ボランティア相談員の活動にご興味がある方は下記までご連絡ください。

問い合わせ先: 大和郡山市社会福祉協議会

(TEL: 0743-53-6531)

福祉課 田中・橋

会議室利用について

○利用できる団体: ボランティアビューロー登録団体

○利用できる日: 月・水・金・土曜日
10:00~16:00

○予約方法: 利用希望日までに来所、もしくは電話で予約をしてください

郡山南小学校消毒ボランティア

ボランティア連絡協議会の加入団体である「図書館とまちづくりネットワーク in 大和郡山」がコロナウイルス対策として郡山南小学校で放課後の清掃活動を実施されています。

西村会長にインタビューをしてきましたので、紹介します。

きっかけは・・・

一斉休校が終了し、児童が登校することになり、学校の隅々まで先生方が消毒しなければならず、時間的・体力的に先生方の負担増になっていることをテレビニュースで知りました。消毒をボランティアで行うことで少しでも先生方の負担軽減になり、子どもたちの教育に関する時間に使ってほしいと、学校に申し入れました。

メンバーは・・・

当会が中心になり、知り合いに声をかけたり、近隣自治会に回覧板を回してもらったり、ボランティアビューローに申し込んだりして消毒ボランティアを募集しました。結果、ボランティア連絡協議会や市レクリエーション協会のメンバーや、回覧板を見たという方、計28名の登録があり、入れ替わりで5人～10人で行っています。(郡山南小には保護者の清掃ボランティアグループがありますが、子どもが帰宅する時間帯なので、あえて保護者には呼びかけませんでした)

課題は・・・

6月15日から開始し、10月14日で実施日数66日間、延べ人数457名になりました。しかし、いつ終わるかわからない毎日の活動で、参加メンバーのモチベーションを維持するのが難しく、メンバーが徐々に減り、このまま減りつづければ、残ったメンバーの負担が増すので、新たな登録者を増やす方法を考えていきたいです。



こおりやま体操教室

こおりやま体操教室の皆さんにインタビューをしてきましたので、紹介します。

この活動は特別に支援が必要な児童生徒、成人とその家族を対象に毎月1回活動をされています。いろいろ大変ですが弱音を吐くこともなく、明るいメンバーに楽しく答えていただきました。



●活動開始日

思いっきり身体を動かせる場所がほしいというニーズを受けて、平成23年度からこの活動を開始しました。活動を始めるにあたり最初は場所のモニタリングから始めました。

出屋敷の体育館や小学校の体育館等を視察・体験をし、保護者にアンケートをとりました。結果、今の矢田南小学校の体育館に決定しました。

●活動内容

自立支援協議会の教育部会のメンバーとボランティアで、小寺先生の感覚統合の指導のもと月1回、特別に支援が必要なお子さんやご家族の皆さんと楽しく運動しています。

●活動を通じて感じたこと

いつも家族皆さんが来られるので、家族一緒に楽しめることは大切だと感じました。また、たくさんのお子とも触れ合えるのでこの点も大切なことと感じました。ボランティアさん、障害者生活支援センターりんくやご家族の皆さんの協力のもと、これからも皆さんと一緒に運動、活動を続けたいと思います。

「郡山城天守台が、オレンジ色に染まる」

9月は世界アルツハイマー月間

9月19日(土)郡山城天守台が、オレンジ色にライトアップされました。オレンジ色は、認知症の人や家族、関わる人への支援の色です。

認知症サポーターの会『オ・レ・ン・ジ』は、マスコットの作成やボランティア等を通して、認知症理解への啓発活動を行ってきました。その活動の一環として、世界アルツハイマーデーに合わせ、令和元年から地域包括支援センターと共催で、奈良県では初となるオレンジ色のライトアップを実施しています。

当日『オ・レ・ン・ジ』は、活動の様子、手作り「おれんじ」カルタの紹介のほか、分担して運営にも参加しました。来場者の方々は、オレンジに染まる天守台を間近に見上げ、展望台からは、夜景も楽しんでおられました。

『オ・レ・ン・ジ』も、「認知症になっても、安心して、自分らしく暮らせるまちづくり」を目指し、オレンジの暖かい灯が、一人でも多くの人々の心に届くよう活動を広めていきたいと思えます。



9月は「世界アルツハイマー月間」
9月21日は「世界アルツハイマーデー」
1994年国際アルツハイマー病協会(ADI)
(108の国、地域が加盟)と世界保健機関(WHO)が共同で制定。
認知症への正しい理解が進むことを目的に、日本をはじめ、世界各国で啓発活動が実施される。

傾聴ボランティア講座

9月28日から毎週月曜日の全5回シリーズで、傾聴ボランティア講座を実施しました。

本紙では今年度の講座を受講した方に話をうかがいましたので、紹介します。

傾聴とは“相手の気持ちを否定せずに受け止めること”。一言に聴く(聞く)ことなんて簡単そうに思っていたのが、間違いでした。

まず、思ったことは「難しい」。相手の話すことを聞く(聴く)だけのことなのに、“聞く”“聴く”の違いが分かれば分かるほど、私にできるのか?と思いました。話すことは得意ですが、相手が主役となるように聞くことの難しさを思い知らされました。

高齢者でもできる傾聴ボランティア、同年代の方と共に歩み、アイコンタクト・うなずき・笑顔を大切に、喜びをもって、共に学び、共に支え合っていく活動です。忍耐と集中力を養うこと、相手のペースに合わせることを常に頭に置きながら、今後傾聴ボランティアをやっていけたらと思います。

